

Welcome ! 高校図書館出張所

I. 企画主旨

高校の部では、図書館そのものを会場に再現し、図書館は司書がいて生きること、高校生活の中で利用者に愛され活用されていることを伝えようとした。来場された方が、これを契機に身近な学校図書館に興味を持ってくだされば、という願いもこめた。

II. 参加者

221名。スタッフ10名含む。

III. 企画の詳細

再現に当たって「そのコーナーは何であるのか」を伝えるボードを作成し、随所に設置した。丸いコルクボードが注目を集めていた。

1. 展示

テーマを決めて本をアピールする「展示」を会場に再現した。展示コーナーは、ふだんの図書館でもはなやかでにぎわう場所であり、司書の腕の見せ所でもある。

①「進路」

高校生の一大関心事は「進路」である。進学するにしても就職するにしても、「将来自分が何になりたいのか」「どういう仕事につきたいのか」つきつめれば「どう生きたいのか」と、それは密接に関わっている。だから図書館にあるすべての本が対象であると言っても過言ではないのだが、ここでの展示はまず「勉強法」「職業案内」「大学・学部案内」「小論文」「面接」など実用書中心の展示になる。あまたの出版物の中で図書館としても選定に悩まされるが、生徒個人が自分にあったものを選ぶ参考（キッカケ）になるようにという意味

で展示した。

②「たたんで切って、開いたら…」

(テーマ：切り紙)

「切り紙」は、古くからある遊びのひとつであるが、ここ数年静かなブームとなっていて、新しい本の出版が続いている。そこに紹介されている作品も、江戸時代の紋切り型から北欧風のものまで、バリエーション豊かである。それら関連の本と実際の作品を並べ、見る人に「切り紙」のおもしろさをあらためて発見していただくことを目的に、この展示を企画した。また、せっかくの「つどい」の機会、見るだけでなく、来て下さった方が実際にその場で作れるように、紙とハサミも用意して、体験型の展示にした。



切り紙コーナーの様子

③「自然のカ・タ・チ」

双子椰子、貝殻、クジラのヒゲなど、自然のものと、それに対応する資料を織り交ぜてディスプレイした。現物があることで、少々つつきにくい自然科学系の本を手にとってもらえればというねらいである。写真が美しい本を選んだので開いてお見せすること、本と現物が結びつくように解説をすることを心がけた。巨大豆のモダマのサヤを振ってもらったり、蓮の実をご所望のお客様におみやげにさしあげたり、楽しんでいただけたと思う。

小学校低学年くらいのお嬢さんが、大部の骨格写真集をまるで絵本をめくるように楽しんでいる姿が印象的だった。



「自然のカ・タ・チ」コーナーの様子

2. 再現したもの

①人気の本・新着図書コーナー

高校図書館では、生徒は大人の本も子どもの本もヤングアダルトの本も、とにかく「面白い」「泣ける」「感動できる」「共感できる」「青春している」「恋愛の」本が好きである。新着図書は、リクエストで買ったものなどはすぐ予約の順番ができる。今回各校から選りすぐりの、高校生が大好きな本を集めた。当日も「いつもの図書館」のように、このコーナーを人が囲み、思い思いの本を開いてくださっていた。来場者の方のおかげで、「再現」が完成したと思う。



大人気の新着図書&人気本コーナー

②雑誌コーナー

高校生の多種多様な興味を反映した雑誌を展示した。専門科のある学校で購読しているカリキュラムに即した専門誌もあり、高校図書館の新鮮な部分を出した。



雑誌コーナー。新聞も！

③カウンター

貸出、返却、さまざまな問い合わせに対応するカウンターも、予約取り置きの本や季節のディスプレイをあしらい再現した。

④リクエスト&レファレンスコーナー

高校図書館はいつでもリクエスト、レファレンスを受け付けていることをアピールしたかった。実際のリクエスト例、レファレンス例と回答を掲示した。

3. リアル図書館の紹介

再現したものは、いわば架空の図書館。埼玉の実際の高校図書館の現状を紹介するため、次の4点に絞って展示した。

①『埼玉の高校図書館はこうなっている！』

「どんな本があるか」「勉強にどう使われているか」「委員会や高校生の日常」と、統計(蔵書・貸出・授業での利用・スタッフ)などをパンフレットにした。100部用意したが、足りなくなるほど好評であった。

②埼玉県図書館事情

小中高校それぞれの、学校数・予算・司書

数などを掲示資料にした。比較のため他県の状況も載せた。

③利用案内

ほとんどの県立高校では、入学時に図書館の使い方の説明を行っている。その際使用するパンフレットを展示した。30校ほどの協力が得られた。

「利用案内」のディスプレイ



④パネル展示「高校図書館風景（写真）」と4コママンガ

各校の活動を視覚的に伝えるために、10数校から、図書館の写真を集めてパネル5枚に仕立て、会場内3カ所に分けて配置した。



入り口に置いたパネル

また、このパネルとともに会場壁面のそこかしこに、ある私立高校の司書による4コママンガを添えた。ユーモアたっぷりに描かれた

図書館での出来事や生徒とのやりとり、司書の仕事の舞台裏…思わずクスッとなった方も多かったことと思う。

4. その他

①来場者へのプレゼント

特製「しおり」と「缶バッジ」(缶バッジはお子様に)を、高校図書館の部屋に来ていただいたお礼を込めて、来場者に配布した。



しおりと缶バッジのプレゼントコーナー

②ビニールコーティング実演

司書の日常の再現として、本をビニール製のシールでコーティングする作業の実演(持参の文庫本にビニールコーティングをする特典あり)を行った。貼る手順、入手方法などに興味を持つ方が多かった。「こういうシールみたいなのをこうやって貼っていたんですか。謎が解けました!」という声も。

IV. 広報

会場が二カ所に分かれたので、高校独自のPRに力を入れ、オリジナルちらしを作成した。また、当日は、ちらしとPRボードを持ってPARCOエントランスに立ち、通る方々にPRした。

V. 運営

4名の実行委員以外にも、事前準備として、しおり、缶バッジ、パンフレットの制作など

で数名の司書と生徒図書委員の方の力を借りた。当日は、10数名の司書がスタッフとして、街頭PR、展示の解説、ビニールコーティング実演、準備・撤収などにあたった。さらに、当日来場者として訪れた現役図書委員の方が、急遽切り紙展示のスタッフを引き受けて、一日場を盛り上げてくださった。こうした図書委員のパワーも高校図書館の魅力のひとつであろう。



VI. 来場者の感想・会場での声

- ・ 「図書館の雰囲気（内、外とも）60年前とはすっかり変わっているのには嬉しくなりました」
- ・ 「生徒を図書館へ誘う工夫がみられてよかったです。高校生の時は図書室で星新一さんの本を借りてハマりました」
- ・ 「孫にも本を紹介してるのよ、図書館のことがわかるこういう機会はいいわね。たくさん利用してもらえてもっと予算がつくといいのに」
- ・ 「司書さんのいない図書館だったので、いいなと思った」
- ・ 「このブースは体験コーナーや実物を置いたりプレゼントを用意していたりして参加していておもしろかったです。ぜひ来年も！」
- ・ 「こういった高校図書館のPR活動はとても楽しくていいと思いました。出来ればこういったイベントが全国にひろまるとうれしい。」 　　など。

VI. まとめ

よそいきの展示ではなく、「いつもの図書館」を再現することに意味があったと思う。昼休みのにぎわう図書館さながらに、新着図書之机をかこむ来場された方の楽しそうな姿を見て、ある程度この試みは成功したのではないかと感じた。